

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成29年4月6日 (2017.4.6)

【公表番号】特表2016-511405(P2016-511405A)

【公表日】平成28年4月14日 (2016.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-023

【出願番号】特願2015-560136(P2015-560136)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/50 Z

C 0 7 K 16/18

C 1 2 P 21/08

G 0 1 N 33/15 Z

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月1日 (2017.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞内で細胞表面に発現した受容体タンパク質とその同族リガンドの間の相互作用をブロック又は妨害する結合性分子を選択する方法であって、

前記細胞において、前記細胞の表面で発現可能な受容体タンパク質を発現させるステップ、

前記細胞において、前記受容体タンパク質の同族リガンドを発現させるステップであって、細胞内オルガネラにおける前記リガンドの保持、及び前記オルガネラにおける前記受容体タンパク質と前記同族リガンドの相互作用を可能にする条件下で、前記同族リガンドが、前記リガンドを細胞内オルガネラにおいて保持するための配列で分子的にタグ付けされているステップ、

前記細胞内オルガネラにおいて保持されている前記受容体タンパク質又は前記リガンドタンパク質のいずれかを特異的に結合する結合性分子又はその結合性断片若しくは部分を前記細胞に導入するステップ、及び

前記細胞表面で発現した前記受容体タンパク質のレベルを検出するステップを含み、前記結合性分子又はその結合性断片若しくは部分が、前記オルガネラにおいて前記受容体と前記同族リガンドの結合をブロック又は妨害する場合、前記受容体タンパク質が、前記細胞表面で発現及び検出可能であり、前記受容体タンパク質とリガンドの相互作用をブロック又は妨害する前記結合性分子又はその結合性断片若しくは部分が選択可能である、前記方法。

